



All Aboard! I

English Communication

「観点別評価」に対応した 評価支援ツールをご用意します。

▼評価規準例 新しい教科書のシラバス案に対応しています。

外国語						
「英語コミュニケーションⅠ」	単位数	3単位	学科	〇〇科	学年・学級	第〇学年 〇組～〇組

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	<p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなど
使用教科書、副教材など	<p>「All Aboard! English Communication I」(C I 701)</p> <p>「All Aboard! English Communication I ワークブック」</p> <p>「All Aboard! English Communication I プリッジワークブック」</p>

新しい教科書のシラバス案に沿った
3観点の評価規準例を
指導書付属Dマイスターに収録。

2. 学習指導計画及び評価方法等

学期	月	単元タイトル (題材)	学習のねらい	考査 範囲	評価の観点のポイント		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	7	Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景	<p>[題材内容] 海外の観光地について書かれたメールを通してその魅力について学習する。</p> <p>[言語材料] to不定詞：(to+動詞の原形)</p>	期末 考査	<p>[知識] to不定詞 (to+動詞の原形) を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 行ってみたい場所ややりたいことについて、to不定詞 (to+動詞の原形) を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりし</p>	<p>ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりし</p>

新しい学習指導要領において、観点別学習状況の評価の観点が、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されました。
指導書付属の「評価支援ツール」によって、この3観点到沿った指導と評価が行いやすくなります。

新しい3観点に沿ったExcel形式の評価支援ツールをDマイスターに収録予定。弊社ホームページからもダウンロードできます。

▼評価支援ツール

評価の三観点：【知】知識・技能 【思】思考・判断・表現 【態】主体的に学習に取り組む態度

パート	Part 1	Part 2	Part 3	単元未テストなど															
評価規準	<p>○【知】【知識】一人称のbe動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) 【技能】名前や好きなものなどについて、be動詞や一般動詞を用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W)</p> <p>◎【思】おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、自分の考えや気持ちを、簡単な語句や文を用いて即興で発表したりしている。(SI・SP)</p> <p>○【態】おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、自分の考えや気持ちを、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションを行おうとしている。(L・R・SI・SP・W)</p>	<p>○【知】【知識】be動詞と一般動詞の疑問文と答え方の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) 【技能】出身地や好きなスポーツなどについて、be動詞や一般動詞を用いてたずねたり答えたりする技能を身につけている。(L・R・SI・W)</p> <p>◎【思】おたがいのことをよりよく知るために、出身地や好きなスポーツなどについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしようとしている。(L・R・SI・W)</p>	<p>○【知】【知識】助動詞canを用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) 【技能】できることやできないことについて、助動詞canを用いてコミュニケーションを行う技能を身につけている。(L・R・SI・W)</p> <p>◎【思】おたがいのことをよりよく知るために、できることやできないことについて、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションをおこなっている。(SI)</p> <p>○【態】おたがいのことをよりよく知るために、できることやできないことについて、簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションをおこなっている。(L・R・SI・W)</p>																
番号	名前	知	思	態	欠席	知	思	態	欠席	知	思	態	欠席	知	思	態	欠席	コメント	
1	サンプル 1	A	A	A		A	A	A		A	A	A							
2	サンプル 2	B	A	B		A	B	B		B	B	B							
3	サンプル 3	C	B	C		B	C	B		B	B	C							
4	サンプル 4	B	C	B		C	B	C		C	B	B							
5	サンプル 5	A	B	A		B	A	B		B	B	A							

画像はサンプル

評価規準例を参考に各Partの評価の観点をExcelに記入。

各観点の重みづけを設定画面でカスタマイズすることも可能。また、単元テストやループリックの結果も設定できます。

※制作中のため、この画面はサンプルです。

クラス		番号	名前	達成率 (%)			システム計算				決定評価・評定				コメント	
知	思	態	知識・技能	思・表・判	学びに向かう力	知	思	態	学びに向かう力	評定	知	思	態	学びに向かう力	評定	
1	1	生徒サンプル 1	88.1	85.5	90.1	A	A	A	5	5	A	A	A	5		
1	2	生徒サンプル 2	54.6	67.2	40.8	B	B	C	3	3	B	B	C	3		
1	3	生徒サンプル 3	64.3	80.1	60.2	B	B	B	3	3	B	A	B	3		
1	4	生徒サンプル 4	61.8	51.2	44.6	B	C	C	2	2	B	C	C	2		
1	5	生徒サンプル 5	88.3	86.4	86.0	A	A	A	5	5	A	A	A	5		
1	6	生徒サンプル 6	53.8	67.2	40.8	B	B	C	3	3	B	A	A	4		
1	7	生徒サンプル 7	69.0	80.1	60.2	B	B	B	3	3	B	B	C	3		
1	8	生徒サンプル 8	70.5	94.4	72.1	B	A	B	3	3	B	A	A	4		
1	9	生徒サンプル 9	67.0	66.7	69.5	B	B	B	3	3	B	B	B	3		
1	10	生徒サンプル10	87.2	64.7	92.4	A	B	A	4	4	A	B	A	4		
1	11	生徒サンプル11	45.8	65.0	69.7	C	B	B	3	3	C	B	B	3		
1	12	生徒サンプル12	46.2	61.1	40.9	C	B	C	2	2	C	B	C	2		
1	13	生徒サンプル13	74.4	86.1	74.8	B	A	B	3	3	B	A	A	4		

画像はサンプル

評価を算出する際の基準とCP (カッティングポイント) を自由に設定。最終的な評価を先生が入力することができます。

●評定ごとの人数

決定評定	5	4	3	2	1
人数	2	4	5	2	0

※本DMに記載されている内容および製品の仕様は予告なく変更する場合があります。